

## どう防ぐ？ 児童虐待 ～ 子どもの権利を尊重する～

講師  
谷 昌之

よくないことだとわかっているはずなのに、なぜ児童虐待が発生してしまうのでしょうか。今回は児童虐待が起こる背景について、掘り下げて考えていきます。高校生のみなさんも、児童相談所への「通告」を通して子どもを守ることができます。また、「子どもの権利条約」を通して“子どもは大切にされる存在である”ということを改めて確認していきましょう。

### ◆◆◆ きょうのキーワード ◆◆◆

#### 児童虐待

2000年に制定された児童虐待の防止等に関する法律（児童虐待防止法）で、「保護者がその監護する児童（18歳に満たない者）について行う以下の行為」として次の4つが児童虐待として定義されています。児童の身体に外傷が生じ、または生じるおそれのある暴行を加える**身体的虐待**、児童にわいせつな行為をしたり、させたりする**性的虐待**、適切な食事を与えなかったり、長時間の放置をしたりするなど、児童の心身の正常な発達を妨げる**ネグレクト（育児放棄）**、児童に対する著しい暴言や無視するなどの拒絶的な対応をしたり、同居する配偶者に対する暴力、心を傷つけることを繰り返し言うなどの**心理的虐待**に分類されています。

#### 子どもの権利条約

子どもが生存と発達を保障され、不当な取り扱いから保護され、自分らしく生きる基本的人権を実現するために、1989年の国連総会において採択されました。日本は1994年にこの条約を批准しました。

子どもに関わるすべての活動において、子どもの最善の利益を第一に考慮し、「生きる権利」「育つ権利」「保護される権利」「意見表明権・参加権」という4つの権利を子どもに保障しています。そして、親には養育に対する第一次的責任を、国には保護者への援助と福祉施設およびサービスの提供を義務付けています。

#### 児童憲章

児童憲章は、我が国の児童福祉の理念を表し、日本国憲法の精神に基づいて1951年の「こどもの日」に制定されました。児童は「人として尊ばれる」「社会の一員として重んぜられる」「よい環境の中で育てられる」という児童の基本的な権利が宣言されており、子どもの幸福生活を保障する義務と責任が国民一人一人にあることがうたわれています。

体罰によるしつけ

児童福祉法や児童虐待の防止などに関する法律（児童虐待防止法）などが改正され、「児童のしつけに際して体罰を加えてはならない」ことが法律に明記されました。2020年4月から施行されています。また改正法附則として、民法第822条で親が子を戒めることを認める「親権者の懲戒権」の在り方について、施行後2年をめぐりに検討を加え、必要な措置を講ずる、としています。

児童相談所への通告義務

児童虐待の防止などに関する法律（児童虐待防止法）の第6条で「児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを福祉事務所もしくは児童相談所に通告しなければならない」と定めています。これは、子どもに関わるすべての人が対象となり、高校生も例外ではありません。

1 児童虐待と子どもの権利条約

- (1) 子どもの権利条約には大きく分けて4つの権利が定められています。それぞれ、「権利が守られていない」とあなたが感じるできごと（自分の体験、またはニュースで知った社会のできごとなど）を書き出してみましょう。



子どもの権利	できごと（体験したこと または 社会のできごと）
生きる権利	
育つ権利	
保護される権利	
意見表明権	

- (2) スウェーデンでは子育てにおける体罰を大きく減らすことができました。  
なぜ減らすことができたのか、ポイントをまとめましょう

## 2 なぜ児童虐待はなくなるのか？

- (1) 「体罰」に頼らないしつけについて、あなたの考えをまとめましょう。

- (2) なぜ児童虐待は減らないのでしょうか？あなたの考えをまとめましょう。  
番組では体罰を例として「身体的虐待」に焦点をあてましたが、相談件数が多く、  
深刻な「心理的虐待」や「性的虐待」、「ネグレクト」など、ほかの種類の虐待に  
についても考えてみてください。

《参考資料》



このページ掲載の文章・画像の無断転載及び商用利用を固く禁じます。

### 3 相談窓口と支援体制

児童虐待を見聞きしたときに行う「通告」をためらってしまう原因は何でしょうか？  
あなたの考えをまとめましょう。

#### 《解説》

虐待の現場を目撃するだけでなく、「泣き声が聞こえる」、「極端に汚れた服を着ている」、「病院に行くほどではないが怪我をしている」などの“違和感を感じる”という程度の事象から、子どもの虐待に気づくこともあります。誤報を恐れたり、あとから“通告者探し”のようなことになって逆恨みをされるのではないかなどと、心配に思うかもしれません。しかし、実際に虐待が行われていた場合、子どもを助け、子育てに悩む親を支えることにもつながります。虐待かどうか疑わしい事象を見かけたら、ためらわずに「通告」しましょう。

#### きょうのまとめ

「児童虐待を防ぐ」ことについて、あなたが感じたことや考えたことをまとめましょう。